

- サステナビリティ推進体制とマネジメント
- 重点活動項目とKPIの設定
- 主要推進事項／KPIと活動の成果
- NTTコミュニケーションズグループの
バリューチェーンを通じたサステナブルな
未来実現に向けた取り組み
- NTTグループとの関係／外部との関係



環境

目指す未来

カーボンニュートラルで、資源が循環し、
生物多様性が保全されて自然と共生する、グリーンな未来

私たちは、以下の関連主要推進事項により、「2030年度カーボンニュートラル(自らが排出するCO₂の実質ゼロ化)」を目指します。

2021年度				
主要推進事項	指標(KPI)	振り返り	評価	今後に向けて

重点活動項目 | 脱炭素社会の推進

グリーン電力の推進	定量 自社における再生可能エネルギー利用率： 2030年度50%以上	35% (Scope2電力)	○	●再生可能エネルギーの計画的な導入を進めるとともに、インターナルカーボンプライシング導入をはじめとしたCO ₂ 排出削減に寄与する施策を確実に実施 ●社用車による排出削減に向け、EV化の推進に加え、所有する車両の台数や利用形態の見直しを積極的に推進 ●NTTドコモグループとしての事業再編成を反映した新たな脱炭素計画を策定
電力削減施策の推進	定量 CO ₂ 排出量の削減：2030年度に2018年度比▲50%	▲43% (2018年度比)	○	
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率：2024年度50%、2030年度100%	23%	○	
CO ₂ 削減に貢献するサービス等の提供	定量 通信事業の電力効率：2030年度に2013年度比10倍以上	4.7倍	○	
エネルギー効率向上の推進	定量 社会のCO ₂ 排出量の削減貢献量： 2030年度に自社排出量の10倍以上	19.5倍	○	

P.044 2030年度カーボンニュートラルの実現に向けた考え方については、レポート内「環境目標2030」パートをご覧ください

重点活動項目 | 循環型社会の推進

3R(削減、再使用、再資源化)の徹底	定量 廃棄物の最終処分率： 2030年度1.5%以下	1.6%	△	●リサイクル率向上に向けた処分対象・処分方法の見直し ●紙(事務用紙)の使用量2020年度比32%削減を目指して取り組む
プラスチックの循環利用の推進				



2022年度	
主要推進事項	指標(KPI)

グリーン電力の推進	定量 自社における再生可能エネルギー利用率： 2030年度50%以上
電力削減施策の推進	定量 CO ₂ 排出量の削減：2030年度に2018年度比▲50%
EV(電気自動車)の導入	定量 EV(電気自動車)導入率：2024年度50%、2030年度100%
CO ₂ 削減に貢献するサービス等の提供	定量 通信事業の電力効率：2030年度に2013年度比10倍以上
エネルギー効率向上の推進	定量 社会のCO ₂ 排出量の削減貢献量： 2030年度に自社排出量の10倍以上

自己評価による達成レベル ○：達成 △：一部達成 ×：未達成